

KING LUCKY

ワイヤレススピーカー K50








取扱説明書







1.安全上の注意



本製品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前に必ずお読みください。また、いつでも見られるところに保管してください。





警告図記号の意味

 危険 : 死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 警告 : 死亡または重傷を負う可能性がある内容
 注意 : けがをしたり財産の損害が生じる可能性がある内容
 : 分解禁止  : 行為を禁止  : 注意を促す  : 行為を指示

(1) 使用に関する事項

 危険	
	本製品には充電式電池(リチウムイオン電池)を内蔵しているので、分解したり傷つけたりしない。 発火、発熱、液漏れ、破裂、誤飲による大けがや失明する恐れがあります。
	火のそば、直射日光のあたるところ、炎天下の車内、高温の場所で使用・保管・放置しない。 火災、発熱、液漏れ、破裂、故障の原因になります。
	付属の充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する。 指定以外の方法で充電すると、発熱、液漏れ、破裂、故障の原因になります

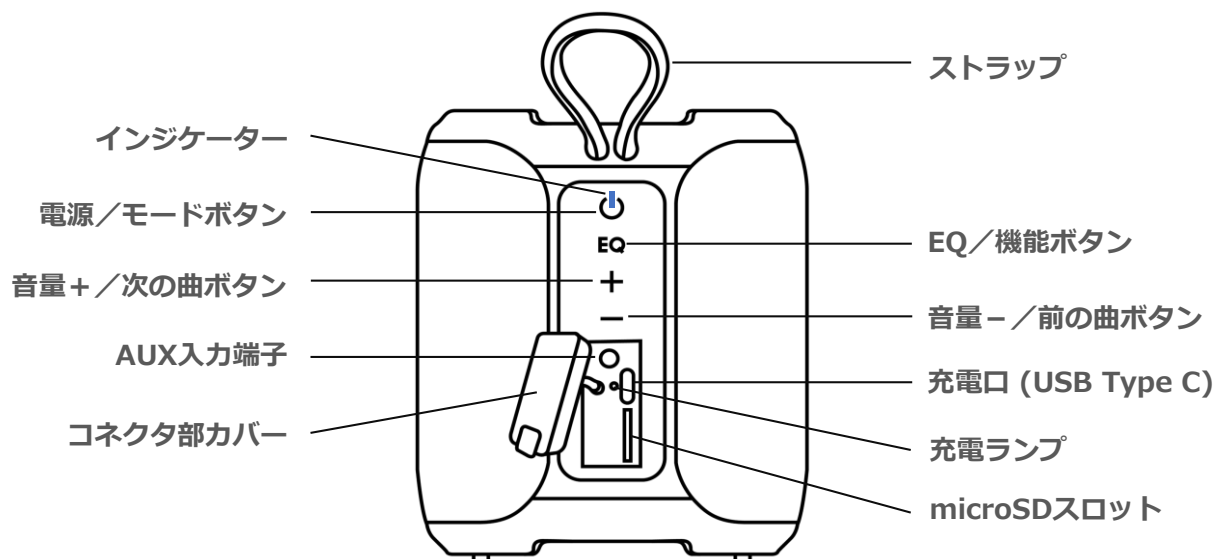
 警告	
	濡れた場所での充電や濡れた手でコネクタの抜き差しはしない。 火災や感電の原因となる場合があります。
	充電ケーブルを破損させない。(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねるなど) ショートによる火災の原因となる場合があります。
	本機や充電ケーブルの上に重いものを載せない。 破損や故障、ケーブル損傷による火災や感電の原因となります。
	本機のストラップでつり下げた状態で使用しない。 持ち運びする場合の取っ手であるため、落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。
	医療機関の屋内や医療用電気機器の近くで使用しない。 本機からの電波が医療用電気機器の作動に影響を及ぼすことがあり、事故の原因となる恐れがあります。
	満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので使用しない。 本機からの電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
	自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使用しない。 電波の影響で誤作動の原因になる恐れがあります。
長時間、大音量で聴き続けない。 聴力障害などの原因となる場合があります。	

	<p>心臓ペースメーカーを使用しているときは、着装部位から22cm以上離す。 本機からの電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。</p> <hr/> <p>航空機内では航空会社の指示に従って適切に使用する。 本機からの電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</p> <hr/> <p>使用中に煙が出たり、異臭や異音、過剰な発熱などの異常が発生したときは、直ちに使用や充電を中止し、電源を切る。 その後は本製品を使用しないで、弊社お問合せ先までご連絡ください。</p>
 注意	
	<p>振動や衝撃の多い場所、不安定な場所(ぐらついた台や傾いた台など)に置かない。 落下して破損や故障の原因となります。</p> <hr/> <p>石けんの泡やオイルのついた手で触らない。 水分が浸入する可能性があります。</p> <hr/> <p>ドライヤーで乾かさない。 変形する可能性があります。</p> <hr/> <p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない。 変形・変色の原因となります。</p> <hr/> <p>本機に、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない。 本機に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる恐れがあります。</p>
	<p>本機の接続前に音量を下げる。 音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出る恐れがあります。</p>

(2) 破棄に関する事項

- ① 内蔵している充電式電池は貴重な資源としてリサイクルが可能です。
- ② 本製品を破棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

2.各部名称



3.充電方法

- ① コネクター部カバーを引っ張って開けます^{※1}。カバーをさらに強く引っ張ると本機から分離することができます。
- ② USB ACアダプタ(市販品)を使用する場合、先にアダプタのプラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- ③ 付属の充電ケーブルのType-A端子をアダプタまたはパソコンのUSBポートに差し込みます。
- ④ 充電ケーブルのType-C端子を充電口に差し込みます。
- ⑤ 充電中は充電ランプが赤点滅し、充電が完了すると消灯します。
- ⑥ 充電が完了したら充電ケーブルのType-C端子、Type-A端子、アダプタのプラグの順に抜き出し、コネクター部カバーを閉めます。

※1 本機が濡れたままコネクター部カバーを開けると、思わぬ水の浸入原因となる場合があります。また、濡れた場所での充電や濡れた手でコネクタの抜き差しをすると、火災や感電の原因となる場合があります。

4.電源のオン/オフ

- ① 電源/モードボタンを3秒間長押しすると、電源がオンになります。
- ② 電源がオンになると、Bluetoothペアリングモード^{※1}になり、インジケータが点滅します。
- ③ 電源がオンの状態で、電源/モードボタンを3秒間長押しすると、電源がオフとなり、インジケータも消灯します。

※1 Bluetoothのペアリングモードとは、本機が接続可能なBluetooth機器を検出し接続待機状態になることです。

5.オーディオ入力モードの切替

① 電源/モードボタンを1回短く押すたびに、Bluetoothモード、AUXモード、microSDモードの3つのオーディオ入力モード^{※1}が切り替わります^{※2}。

※1 AUXケーブルで外部機器と接続されていない場合、またはmicroSDカードが挿入されていない場合は、それぞれのモードを選択することはできません。

※2 モードの切替により、Bluetoothモードに戻した際にBluetooth接続が解除されている場合があります。

6. Bluetoothモードでの使用方法

※ 音楽再生及び通話に関する操作については、「9.ボタン操作」を参照してください。

(1) Bluetooth機器とのペアリング

① 電源をオンにすると、Bluetoothペアリングモードになり、インジケータが点滅します。

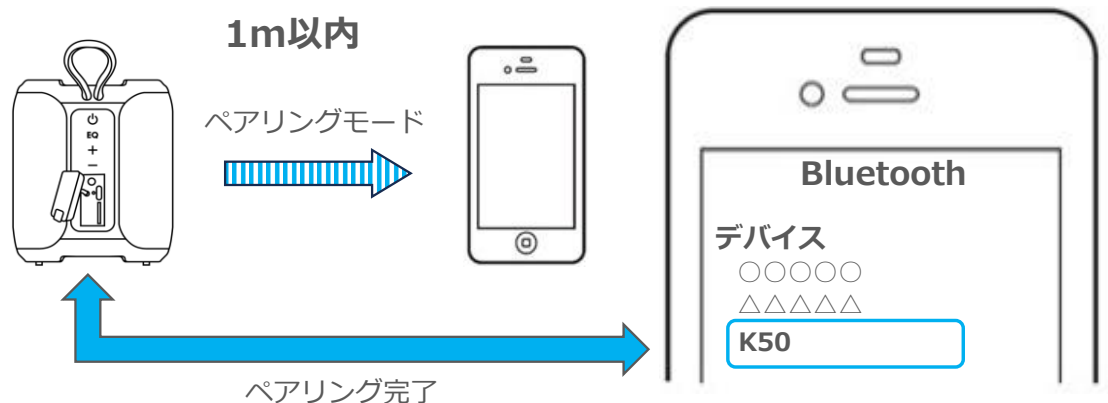
② 接続しようとするBluetooth機器を1m以内の範囲に置き、接続機器側^{※1}で登録をします。

③ 接続機器側のBluetooth設定画面で、デバイスの中から「K50」を選択します。

④ Bluetooth機器とのペアリングが完了して接続し、インジケータが点灯します。

⑤ Bluetooth機器との接続状態で、EQ/機能ボタンを3秒間長押しすると、Bluetooth接続が解除され、Bluetoothペアリングモードとなり、インジケータが点滅します。

※1 接続機器側の操作については、各機器付属の取扱説明書を参照してください。



(2) TWS接続時のペアリング

① 2台のスピーカー及び接続しようとするBluetooth機器を1m以内の範囲に置き、接続機器側のBluetooth設定を一旦オフにします。

② 2台のスピーカーの電源をオンにすると、Bluetoothペアリングモードになり、それぞれのインジケータが点滅します。

③ いずれか片方^{※2}のスピーカーの電源/モードボタンを2回短く押すと、スピーカー同士がTWS接続されます。

④ 接続機器側のBluetooth設定をオンにし、デバイスの中から「K50」を選択します。

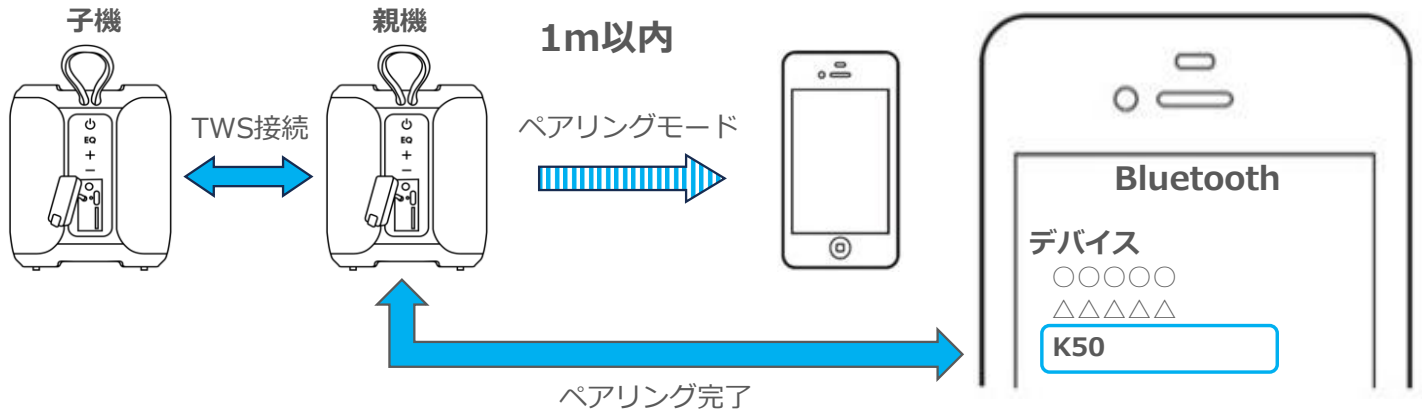
⑤ Bluetooth機器とのペアリングが完了して接続し、親機のインジケータが点灯します。

⑥ TWS接続状態で、いずれか片方のスピーカーの電源/モードボタンを2回短く押すと、TWS接続が解除され、親機のみがBluetooth機器との接続を継続し、子機はBluetoothペアリングモード^{※3}となります。

⑦ TWS接続状態で、子機の電源／モードボタンを3秒間長押しすると、子機の電源がオフになり、親機はBluetooth機器との接続を継続しますが、親機の電源をオフにすると、子機はTWS接続が解除され、Bluetoothペアリングモード※3となります。

※2 操作した側のスピーカーが親機、もう一方が子機となります。

※3 TWS接続が解除され、Bluetoothペアリングモードとなった子機については、他のBluetooth機器と接続して単独使用が可能です。再度TWS接続する場合は、親機側で接続の操作をする必要があります。



(3) オートペアリング

① 登録したBluetooth機器側がペアリングモード※4になっていれば、次回以降は本機の電源をオンにする※5と自動的にその機器と接続※6します。

※4 Bluetooth機器側がペアリングモードになっているとは、Bluetooth機器が以下のすべてに該当しない状態であり、本機を検出し接続待機状態になっていることです。

- ・本機と10m以上離れている
- ・本機との間に障害物がある
- ・電源がオフになっている
- ・Bluetoothが設定オフになっている
- ・他の機器と通信中である

※5 TWS接続時に子機として登録されたスピーカーは、以下に該当する場合、電源をオンにしても自動的にその機器と接続しません。

- ・「(2) TWS接続時のペアリング⑥または⑦」に記載の操作によって、TWS接続が解除されている場合
- ・親機の電源がオフになっている場合

※6 Bluetooth機器の種類によっては、その機器がペアリングモードであるにもかかわらず自動的に接続しない場合があります。

7. AUXモードでの使用方法

※ 音楽再生に関する操作については、「9.ボタン操作」を参照してください。ただし、AUXモードでは、「EQモード切替」と「⑦」に記載の「消音／消音取消」を除き、外部機器側で操作を行ってください。

① Bluetoothに対応していないオーディオプレーヤーなどの外部機器は、本機と有線接続することで使用することができます。

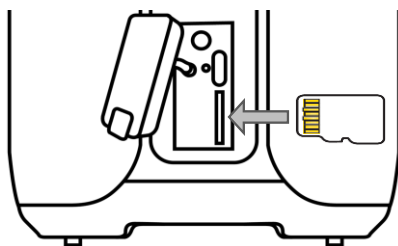
② 接続しようとする外部機器と本機の電源はオフにしておきます。

- ③ 本機のコネクタ部カバーを引っ張って開けます※1。カバーをさらに強く引っ張ると、カバーを本機から分離することができます。
 - ④ 付属の3.5mmAUXケーブルの一方の端子を外部機器のイヤホンジャックなどのAUX出力端子に、もう一方の端子を本機のAUX入力端子に差し込みます。
 - ⑤ 外部機器と本機の電源をオンにすると、自動的にAUXモードになります。
 - ⑥ 外部機器側で再生などの操作を行います。
 - ⑦ 再生中にEQ/機能ボタンを1回短く押すと消音し、もう一度押すと消音を取り消します。
 - ⑧ 終了するときは、外部機器側の電源をオフにしてから、本機の電源をオフにし、ケーブルを抜きます。
- ※1 本機が濡れたままコネクタ部カバーを開けると、思わぬ水の浸入原因となる場合があります。また、濡れた手でコネクタの抜き差しをすると、火災や感電の原因となる場合があります。

8.microSDモードでの使用方法

※ 音楽再生に関する操作については、「9.ボタン操作」を参照してください。

- ① 本機の電源はオフしておきます。
 - ② 本機のコネクタ部カバーを引っ張って開けます※2。カバーをさらに強く引っ張ると、カバーを本機から分離することができます。
 - ③ microSDカードの向きを下図のようにして、本機のみmicroSDスロットに差し込みます。
 - ④ 本機の電源をオンにすると、自動的にmicroSDモードになります。
 - ⑤ 終了するときは、外部機器側の電源をオフにしてから、本機の電源をオフにし、microSDカードを抜きます。
- ※1 microSDカードの品質、書き込み状況などにより、再生できない場合があります。
- ※2 本機が濡れたままコネクタ部カバーを開けると、思わぬ水の浸入原因となる場合があります。また、濡れた手でmicroSDカードの抜き差しをすると、火災や感電の原因となる場合があります。



9.ボタン操作

ボタン	1回短押し	2回短押し	3秒長押し
電源／モード	<u>Audio入力モード切替</u> ^{※1} Bluetoothモード ／AUXモード ／microSDモード	<u>TWS接続</u> ^{※1,2} 接続開始／接続解除	<u>電源</u> ^{※1} オン／オフ
EQ／機能	一時停止 ^{※3} ／音楽再生 通話応答(着信時) ^{※2} ／通話終了(通話中)	EQモード切替 音楽モード ／カラオケモード ^{※4} ／アウトドアモード	<u>Bluetooth接続</u> ^{※1} 接続解除／接続開始
音量+／次の曲 ^{※3}	音量を上げる		次の曲へスキップ
音量-／前の曲 ^{※3}	音量を下げる		前の曲へスキップ

※1 下線付きの操作は、上記「4.電源のオン／オフ」～「8.microSDモードでの使用方法」に記載の電源及び接続等の操作にかかわるボタン操作です。

※2 TWS接続時、オーディオ入力モードのBluetoothモードでは、音楽再生に関する操作については、親機か子機にかかわらずいずれか片方のスピーカーで操作可能ですが、通話に関しては、親機でのみ操作可能です。また、AUXモード及びmicroSDモードでは、親機の操作のみ有効で、子機からは音も出ません。

※3 AUXモードの場合、再生中の音楽を一時停止するのではなく、消音するだけです。また、「音量調節」及び「曲のスキップ」機能はありませんので、外部機器側で操作してください。

※4 EQモードのカラオケモードは、再生している楽曲のボーカルの音量を抑えますが、完全にボーカルカットするものではありません。

10.使用上の注意

(1) Bluetoothについて

① 本製品の使用周波数帯(2.4GHz)では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、免許を要するアマチュア無線局等が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。また、万一、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるかまたは運用(電波の発生)を停止してください。

② Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

③ 本製品はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねます。

④ Bluetooth標準規格に適合していても特性や仕様によっては、本機と接続できない場合や動作が異なる場合があります。

- ⑤ 多くの電波が飛び交う場所では通信に障害が発生することがありますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので本製品の不具合ではありません。
- ⑥ 動画視聴時などに本機側での音声がわずかに遅れますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので不具合ではありません。
- ⑦ 2.4GHz帯を使用する無線LANは同一周波数帯を使用するため、無線LAN機器の近辺で使用すると音声途切れたりノイズが発生したり接続できなくなることがあります。

(2) バッテリーについて

- ① 十分に充電したにもかかわらずバッテリー持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命と考えられます。
- ② 許容動作環境(温度: 0℃～40℃、湿度: 20～80%、結露なきこと)を外れた環境で充電を行うと、フル充電になっていなくても、充電が完了することがあります。適切な環境で再度お試しください、それでも問題が解決しない場合は弊社お問合せ先までご連絡ください。
- ③ 長期間使わなかったときは、バッテリー持続時間が短くなることがあります。この場合は何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

(3) 防水性能について

- ① 本機は、防水性能「IPX6」※1相当ですが、水没にも耐えられる防水性能ではありませんので、以下の点にご注意ください。
 - ・水中では使用しないでください。
 - ・故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
 - ・石けんや洗剤で洗わないでください。
 - ② 充電ケーブルは防水仕様ではありませんので、水がかかるおそれのある場所での使用、充電及び保管はしないでください。
 - ③ コネクタ部を開けたまま、水がかかるおそれのある場所での使用及び保管はしないでください。
 - ④ 誤った取扱いによる水の浸入で生じた故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。
- ※1 「IPX6」は、あらゆる方向からの水の強い直接噴流によっても機能を保ちます。なお、常温の真水や水道水での性能を保証する規定であり、温水および海水等で同等の性能を有することを保証するものではありません。

11. お手入れ

- ① 日常のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。
- ② 濡れたときは、使用後に乾いた布で拭いてください。
- ③ 汚れがひどい場合は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後から拭きしてください。
- ④ 各コネクタの汚れは、乾いた綿棒などで拭き取ってください。

12.故障かな?と思ったら

① 故障かな?と思ったら、下記をチェックしてください。

症状	チェック事項
充電ができない	充電ランプが点灯しているか確認してください。 充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 パソコンに接続している場合、パソコンが省電力モードやスリープモードになっていないか確認してください。
電源が入らない	フル充電してから再度お試しください。 電源/モードボタンを長押しではなく、短く押していないか確認してください。
ペアリング接続ができない	接続機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎているか確認してください。 接続機器の電源が入っているか確認してください。 接続機器がスリープ状態になっていないか確認してください。 接続機器が他の機器と通信していないか確認してください。 接続機器が本機のプロファイルに対応しているか確認してください。 接続機器側で本機の登録が削除されていないか確認してください。
ペアリングがうまくいかない	意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器のBluetooth設定をオフにしてください。 接続機器が接続可能状態にあるにもかかわらず自動的に接続しない場合は、その機器のBluetooth設定画面で、デバイスの中から「K50」を選択してください。 接続機器のBluetooth設定を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。 接続機器の電源を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。 本機の電源を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。
ノイズやエコー音がしたり、音声が途切れる	2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN機器、自動ドア、コードレス電話機など)が近くにはないか確認してください。 本機のバッテリー残量が少ない時に、接続機器との接続が不安定になることがあります。フル充電してから再度お試しください。
Bluetooth接続時、音が出ない	本機またはBluetooth機器の音量が最少になっていないか確認してください。 Bluetooth機器との接続が解除されていないか確認してください。 本機を2台使用時に1台から音が出ない場合は、TWS接続が解除されていないか確認してください。 オーディオ入力モードがBluetoothモードになっているか確認してください。
外部機器と有線接続時、音が出ない	本機または外部機器の音量が最少になっていないか確認してください。 本機と外部機器が3.5mmAUXケーブルで正しく接続されているか確認してください。 オーディオ入力モードがAUXモードになっているか確認してください。
microSDカード挿入時、音が出ない	microSDカードが確実に挿入されているか確認してください。 オーディオ入力モードがmicroSDモードになっているか確認してください。

② 上記のチェックで問題が解決しない場合は、修理をご依頼ください。

13.主な仕様

カラー	●
材質	ABS樹脂
無線方式	Bluetooth5.3+EDR
パワークラス	Class2
最大通信距離	8~10m
使用周波数帯域	2.4GHz帯
対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HFP/SPP
対応コーデック	SBC/AAC
複数台接続	2台接続可能
TWS最大通信距離	8~10m
ドライバー	口径66mm×2
最大出力	40W
出力音圧レベル	85dB
インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	20Hz~20kHz
内蔵マイクタイプ	ECMマイク
指向性特性	無指向性
マイク感度	-42dB±3dB
マイク周波数特性	50Hz~10kHz
外部入力端子	φ3.5mmステレオミニプラグ/micro SDカード
再生可能ファイル	MP3/WMA/WAV
防水性能	IPX6相当
バッテリー容量	5000mAh
充電時間	2~3時間
再生時間	約2時間(100%音量時)、約6時間(50%音量時)
外形寸法	約 W125×D106×H130mm (突起物含まず)
重量	約876g
付属品	充電ケーブル(USB Type-C) 3.5mmAUXケーブル 保証書(保証期間1年)

※ 最大通信距離、使用時間、充電時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※ 仕様及び外観を予告なく変更する場合や取扱いを中止する場合があります。

※ 本書で使用しているイラストは、実際の製品と異なる場合があります。



R 220-JP8303

14.保証とアフターサービス

(1) 保証期間

交換：ご購入日から3ヶ月間

修理：ご購入日から1年間

(2) 保証内容

当社が定める保証期間内に、適切な使用環境および使用方法で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

以下の場合には保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。また修理の際、当社の判断で製品交換とさせていただくことがありますのでご了承ください。

- (1) 本保証書がない場合
- (2) 本保証書にご購入日・販売店名の記入捺印または、それに代わるご購入を証明する書類（レシート・納品書等）がない場合
- (3) 本保証書またはご購入を証明する書類に偽造、改変などが認められた場合
- (4) ご購入後の落下、衝撃などによる故障
- (5) 使用上の誤りによる故障
- (6) 本製品以外の機器が原因となって生じた故障
- (7) 当社以外で行われた修理、分解、改造で生じた故障
- (8) 一般家庭用途以外での使用で生じた故障
- (9) 外的要因（火災、異常電圧等）、天変地異（地震、雷、風水害等）などの不可抗力による故障
- (10) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合

この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

(3) アフターサービス

- ① 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社「製品に関するご相談窓口」にご相談ください。
- ② 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間が過ぎた場合は修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社「製品に関するご相談窓口」にご相談ください。

株式会社KING LUCKY 〒105-0004 東京都港区新橋3-4-10 HP : https://www.kinglucky.jp E-mail : info@kinglucky.jp	製品に関するご相談窓口
	TEL : 03-3528-8268 [受付時間] 10:00~17:00 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)